

授業概要

- ・現代社会における社会福祉の動向と意義、さらに社会福祉の歴史的変遷について解説する。
- ・社会福祉における子ども家庭福祉の視点について解説する。
- ・社会福祉の制度や実施体系、相談援助について講義する。
- ・社会福祉における利用者保護にかかわる仕組みについて解説する。
- ・社会福祉の課題及び今後求められる点について講義する。

授業計画

第 1 回	保育と社会福祉	
第 2 回	社会福祉の理念と概念	
第 3 回	社会福祉の歴史的変遷	
第 4 回	子ども家庭支援と社会福祉	
第 5 回	社会福祉の法制度と法体系	～子ども、障害者に関連するもの～
第 6 回	社会福祉の法制度と法体系	～高齢者、その他に関連するもの～
第 7 回	社会福祉行財政と実施機関	
第 8 回	社会福祉施設と社会福祉の専門職	
第 9 回	社会保障及び関連制度の概要	
第 10 回	相談援助の理論、意義と機能	
第 11 回	相談援助の対象と過程、方法と技術	
第 12 回	社会福祉における利用者保護にかかわる仕組み	～福祉サービス利用促進、権利擁護～
第 13 回	社会福祉における利用者保護にかかわる仕組み	～苦情解決、第三者評価～
第 14 回	社会福祉の動向と課題	～少子高齢化社会における子育て支援、在宅福祉・地域福祉の推進～
第 15 回	これからの社会福祉	～共生社会の実現と障害者施策、諸外国の動向～
第 16 回	筆記試験	

到達目標

- ・社会福祉の制度、社会福祉の実施体系、相談援助の方法・技術について理解することができる。
- ・現代における社会福祉の意義を理解し、特に身近にある社会福祉制度やサービスを把握することができる。
- ・子どもが健やかに育つ社会のために、求められる社会福祉と保育のあり方について理解することができる。

履修上の注意

- ・子どもと保護者が置かれている現代社会の状況について関心を持ち、日頃からニュース等をチェックするようにして下さい。
- ・授業で用いる資料は授業前日までに Teams にて配布するので、各自でプリントアウトをして、予習に取り組んで下さい。
- ・Teams 及び Forms を積極的に活用するので、心積もりをして授業に臨んで下さい。

予習・復習

- ・予習：Teams 及び Forms を通して提示するので、各自で取り組み、授業に臨んで下さい。
- ・復習：毎回の授業で具体的に示すので、各自で取り組んで下さい。

評価方法

筆記試験(75%)、毎回の授業でのレスポンス・ペーパーの内容(15%)、毎回の授業前に提示する予習(10%)

テキスト

- ・教科書名：はじめて学ぶ社会福祉
- ・著 者 名：小野澤昇、島田肇編著
- ・出版社名：建帛社
- ・出 版 年 (ISBN)：978-4-7679-5151-5